

# 学校給食センターを統合

平成23年度の2学期から  
鷹巣学校給食センターでの運営

平成23年9月から、学校給食は鷹巣学校給食センターに統合されます。

鷹巣・指江両学校給食センターは、平成18年の合併以前から、旧東・長島の児童生徒に対し学校給食の提供をしています。

特に鷹巣センターは、築19年を経過していて、施設設備の老朽化が進み、学校給食衛生管理基準への適応状況に課題を抱えている状況にあります。町では、鷹巣センターを衛生管理基準の徹底と、さらに安心、安全でおいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供や、食育の推進を図るため、平成23年8月下旬の完成を目指し、改修工事を進めていきます。1学期は従来どおり鷹巣・指江両学校給食センターから給食が提供され、2学期以降は改修された鷹巣学

校給食センターからの提供となります。

現在両センターとも調理や運搬業務は、民間委託していますが、統合後も同じく民間委託方式で運営する予定です。公募については、6月ごろを予定しています。



現在の鷹巣学校給食センター

# 作業分担を明確化



2月10日、長島町役場指江庁舎2階大ホールで、作業分担を明確にし、お互いが協力しながら経営に取り組む、農業家族経営協定調印式が行われました。

今回、調印したのは、城川内の佐々木さん一家（父親の幸親さん、母親の美保さん、息子さんの優翠さん）と、獅子島の小田さん一家（父親の保さん、母親のツルエさん、息子さんの保彦さん）です。

この日は、川添健町長、上川信雄北薩地域振興局農林水産部農政普及課参事、山口正成農業委員会会長の立ち会いのもと、家族経営協定書へ調印し、それぞれ今後の抱負を述べ、決意を新たにしました。

今回、協定した佐々木さん一家は、バレイシヨやさつまいもなど露地野菜の複合経営をされ、小田さん一家は、紅甘夏などの果樹専業で経営されています。

→調印した佐々木さん一家（左側）と小田さん一家（右側）